

姫路の家

敷地は姫路城の西北部に位置し、田畑が残るのどかな住宅地の中にある。クライアントは高台の住宅地に住んでいたが、70代の夫婦にとって冬場の坂道の往来が大変であることと、敷地前の山が台風や集中豪雨などにより、山崩れを起こすことを心配し、近くの平地に敷地を求め、建て替えをすることになった。敷地は道路から70cmの高低差があり、これからの生活を考慮し、間口の西左側にアプローチのスロープを設け、植栽・来客の駐車スペース・車庫を道路沿いに並べて配置した。前面道路が小学校の通学路になっており、子供や道行く人たちに圧迫感を与えないように道路側を平屋建てにした。西側水路など、周辺環境を取り込み、植えられた木々と共に一体となる開放感のある美しいランドスケープを考えた。

緩やかなスロープの両側に植えられた木々を滑りながら玄関へ導かれ、玄関に入ると坪庭の紅葉が目に入る。ホール右側にハレの場としたご主人の趣味である絵画収集の絵を飾る応接室を、左側にケノの場、プライベートエリアのリビング・ダイニング・キッチンの中庭を介して離れ的に配置した。プライベートエリアを2階建にして、2階の半分を近くに住む孫が遊びに来た時に泊まれる予備室と納戸。もう半分のリビング・ダイニングの上部を吹抜けにした大空間に、東・南側のハイサイドライトから赤杉簾越しの柔らかな光が射し込む。生活は1階で事が足りるようにしている。セミコートハウスの、プライバシーが確保されたおおらかな空間の中で、夫婦の趣味である絵画や、生花を楽しむ、散りばめられた7つの庭から緑と、光や風・空を取り込み、自然と季節の移ろいを感じながら、豊かな生活を営む終の棲家であるが、近くに住む子供たちに引き継いでいってもらえればと思う。



用途：専用住宅
構造規模：木造（在来工法）
地上2階建
敷地面積：484.02㎡
建築面積：245.35㎡
延床面積：264.89㎡

